

Youth Green Innovation Projectの全容

2030年までに、経済と環境の好循環を生む1,000人のイノベーターを育成します

大学生=熱意ある優秀な若者へ、エネルギーを取り巻く世界情勢や産業構造の変化を知らせ、リーダーシップ開発を行うと共に、変化に対し、挑戦的な取り組みに舵を切る企業の魅力を伝えていきます。

若手社会人=熱意ある若手社員、官庁若手職員の人材育成と共にセクターを超えたコミュニティの連携を支援します。 2021年現在、大きく3つのプロジェクトを通じてその実現を目指します。

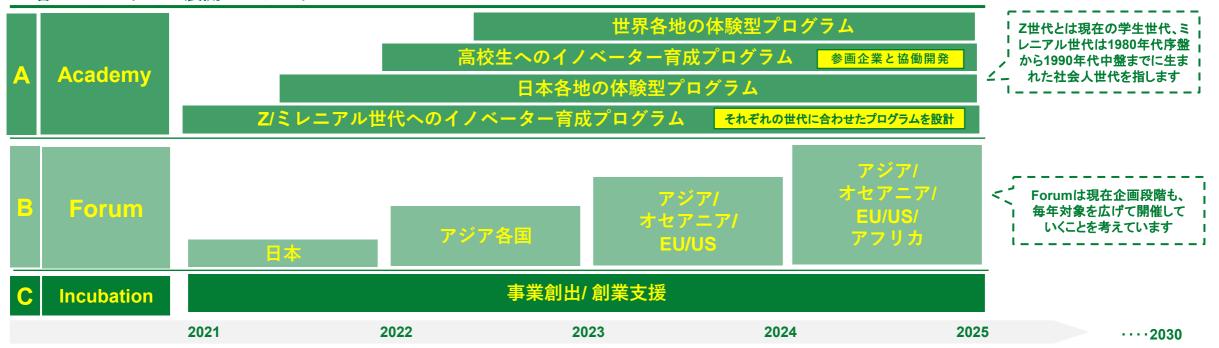
■ Youth Green Innovation Project 3つのプログラム







■ 各プロジェクトの展開ロードマップ



Be the change

that you want to see in the world.

"見たい世界があるのなら、あなた自身がその変化になりなさい" Mahatma Gandhi(マハトマ・ガンジー)

> Be the change 『変革者になる』

Youth Green Innovation Projectは 未来を主体的に変革していこうとする人の育成や企業の成長を支援します。

Green Innovator Academyのプロジェクト概要

オンラインと体験プログラムの両アプローチで共創型イノベーターを育成

現在学生にあたるZ世代には、『未来を自らより良く変えよう』と志す若者を産官学で支援する環境を提供し、

大局を捉え、体験やセクターを超えた対話を通じてイノベーターを育成します。

また、若手社会人であるミレにある世代に向けては、組織の中から企業や社会をイノベートする若手リーダーを開発します。

■オンラインプログラム(一部抜粋/ドラフトとなります)



世界・日本の気候変動の現状と取り組みを知る

気候変動への対策として、地球温暖化、オゾン層保護、環境影響評価 など多様な取組を通じて、政府全体の環境政策をリードする環境省の 職員が、日本の政策の今と未来を語る。

多田 悠人氏 :環境省 地球環境局国際地球温暖化対策 担当参事官室 係長



日本・世界のエネルギー事情とグリーンイノベーション戦略概要を学ぶ

世界のエネルギー事情や日本のエネルギーの安定供給や省エネルギー・新エネルギー政策を担当する資源エネルギー庁の内外の現状と未来、グリーン成長戦略をレクチャーする。

長谷川 洋氏 :経済産業省 資源エネルギー庁 需給政策室長 兼調査広報室長



エネルギー転換:新型コロナ感染拡大からの回復 の取り組みが示す、5つの重要な教訓

Pedro Gomez

Head of Oil and Gas Industry and Partnering Against Corruption Initiative (PACI), World Economic Forum



社会課題の解決に向けリスクを引き受け、 困難な旗 を振る (仮題)

地球上の貧困問題解決に向けて財団全体で5兆3千億円の予算を用い、また先進国、国連、世銀等国際協力のプレイヤーと協力して取り組

む。 柏倉 美保子氏 : ビル&メリンダ・ゲイツ財団 日本常駐代表

■現場に学ぶ・体験プログラム(一部抜粋/他自由参加型プログラムあり)

体験型プログラム(1泊2日@福島)

小グループを組み、福島第一原発/伝承館/水素フィールドやイノベーションコーストを見学。原子力発電を肯定、否定するのではなく、10年前に何が起きたのかを学び、10年経過した現実を踏まえた上で、未来を描くプログラム。





体験型プログラム (1泊2日@青森県)

本プロジェクト委員の渋澤健氏と共に、科学技術とエネルギー、更には先端的産業拠点であるむつ小川原開発地区へエネルギーと未来を考えるプログラム。





ユーラス六ヶ所 ソーラーパーク



国際核融合エネ ルギー研究セン



原子燃料サイク ル施設

7 | 7 | A

1500kw型大型発電機 21基を設置したウィ ンドファーム

国内最大のメガソーラ 一

実行委員会とプログラム実行メンバーのご紹介

Youth Green Innovation Project 実行委員会

2050年、脱炭素社会に向けた取り組みを加速させるため、産官学で連携し、次代を担う若い世代へグリーンイノベーションの認知拡大と共に、自ら考え未来へ向けて行動を起こす人材の育成と輩出を目指すために発足。パブリック・プライベート両セクターの協力を通じてビジネス界、学界および社会におけるその他のリーダーと連携し、グリーンイノベーションの加速に寄与します。いずれの利害関係にも関与しない独立・公正な組織です。

■実行委員会

委員

委員長:伊藤元重

委員:澁澤 健

委員:岡田 武史 委員:坂野 晶

委員: 菅原 聡



委 一般社団法人 員 Green Innovation







後 援 経団連

KELZAL DOYUKAL



調整中

■プログラム実行委員及びメンバーのご紹介



委員長 東京大学名誉教授 伊藤 元重

渋澤健



委員 コモンズ投信株式会社取締役会長



委員/Academy校長 株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長



一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャバン代表理事 **坂野** 晶



一般地法人Green Innovation代表理事



アドバイザー アクセンチュア株式会社 相談役 程 近智



アドバイザー 早稲田大学教授 高野 孝子



アドバイザー JT日本たばこ産業株 取締役副会長 岩井 睦雄



Academy担当 長野県小布施町総合政策推進専門官 林 志洋



Academy担当 京都大学経済研究所研究員 山東 晃大



Forum担当 ジャルガルサイハン ボルドマー



Academy担当 NPO法人スパニッシモジャパン代表理事 有村拓朗



事務局 株式会社Lifebook 代表取締役 細貝 征弘

世界経済フォーラムにより組織される コミュニティGlobal Shapersメンバー 及びアルムナイにて運営

グリーン成長を推進する企業様と共に本プロジェクトを推進します。

参画希望企業様は下記までお問い合わせください。

info@green-innovation-project.com

確定

- ・三井不動産様
- · JERA様
- ・岩谷産業様

食・農業

食料・農林水産業

スマート農業・高層建築物木造化・ ブルーカーボン

エネルギー

洋上風力産業

風車本体・部品・浮体式風力

水素産業

発電タービン・水素還元製鉄・ 運搬船・水電解装置

燃料アンモニア産業

発電用バーナー (水素社会に向けた移行期の燃料)

原子力産業

SMR/水素製造原子力

資材

資源循環関連産業

バイオ素材・再生材・ 廃棄物発電

カーボンリサイクル産業

コンクリート・バイオ燃料・ プラスチック原料

モビリティとインフラ

自動車・蓄電池産業

EV・FCV・次世代電池

航空機産業

ハイブリット化・ 水素航空機

船舶産業

燃料電池船・EV船・ガズ燃料船等 (水素・アンモニア等)

物流・人流・

土木インフラ産業 スマート交通・物流用ドローン・

FC建機

金融

金融産業

物理的リスク、 移行リスクの価格格付け、 スチュワードシップ

ライフスタイル

ライフスタイル関連産業

地域の脱炭素ビジネス

建物・都市

住宅・建築物産業 /次世代型太陽光産業 (ペロブスカイト)

情報通信

半導体・情報通信産業

データセンター・ 省エネ半導体 (重要サイドの効率化)

※上記のカテゴリーでプログラム内で発表等をするのではなく、

© 2021 Youth Green Innovation Projec参画企業様と協議調整しながら内容の作りこみを行います





2021年度 Youth Green Innovation Project 企画概要

Academyを通じてZ/ミレニアル世代を対象にイノベーターを育成します。 更に、Forumにて多様なセクター、年代を超えた対話、交流を図り、 経済と環境の好循環を生む社会に向けて共創を加速させます。

Green Innovator Academy		2021年10月末~			Youth Green Innovation forum 2022年3月			月	
Z世代		オンラ	フィール	オンラ	調査・ 提言作成	提言	プロジェクト	推進	
ミレニアル世代	開校式	インプロジ	ドラー	インプロ	新規事業 立案	発表	プロジェクト	推進	
全世代		グム		7					





① Green Innovator Academy (For Z世代)

『未来を自らより良く変えよう』と志す若者を産官学で支援する環境を作ります。

大局を捉え、体験やセクターを超えた対話を通じてイノベーターを育成します。

大局を捉える

【オンラインプログラム】

気候変動と世界、日本のエネルギー情勢、環境活動家の声を聞き 世界を俯瞰する

4時間×2回

リーダーシップ

【オンラインプログラム】

グリーンイノベーションへの取り 組み事例、時代を切り開くリーダ ーから学ぶ

4時間×1回

現場に学ぶ

【体験型プログラム】

福島第一原発、伝承館、 イノベーションコーストツアー、 企業経営幹部との対話

1泊2日

企業先進事例を学ぶ

【オンラインセッション】

各カテゴリーで参画企業がプレゼン。受講者は調査研究分野を選定

4時間×2回 (受講生希望選択制)

2021年10月末~11月

12月

2022年1月~2月初旬

調査・研究・提言作成

小グループを組み調査・参画企業 へのインタビューを通して研究 し、提言作成。企業/省庁受講生 は新規事業立案や事業・経営への 提言作成

4時間×2回

アウトプット

【FORUM参加・登壇・提言】

グリーンイノベーション推進企業とのパネルやワークショップに参加。Z世代は 提言を行う。参画企業、省庁若手のグループで発表を行う。

一般配信(1部クローズ)

プロジェクト推進

アウトプットした各々の課題解決に向けて推進する。

例:企業の新規事業・商品マーケティングプロジェクトとして推進(数か月のプロジェクト化等)若手やZ世代の声を事業や商品へ反映

コミュニティ推進

一過性でなく、次代を共創するリーダーとして有機的につながり、 連続してリーダーを育成、輩出していくエコシステムとして推進。

2月中旬~3月初旬

3月12~13日

3月~

2021年度:対象

熱量(energy)の高いZ世代大学生

100名(オンラインプログラム傍聴は無制限)

期間

2021年 10月末~2022年3月

② Green Innovator Academy (Forミレニアル世代)

組織の中から企業や社会をイノベートする若手リーダーを開発します。 共創型イノベーター育成プログラムです。

大局を捉える

【オンラインプログラム】

気候変動と世界、日本のエネルギー情勢、環境活動家の声を聞き 世界を俯瞰する

4時間×2回

リーダーシップ

【オンラインプログラム】

グリーンイノベーションへの取り 組み事例、時代を切り開くリーダ ーから学ぶ

4時間×1回

現場に学ぶ

【体験型プログラム】

福島第一原発、伝承館、 イノベーションコーストツアー、 企業経営幹部との対話

1泊2日

企業先進事例を学ぶ

【オンラインセッション】

> 4 時間×2回 (受講生希望選択制)

2021年10月末~11月

12月

2022年1月

共創型価値創造

他業種で小グループを組み、各テーマにおける課題を設定し、ジョブアサインからジョブクラフティング力育成を行う。

4時間×2回

アウトプット

【FORUM参加・登壇・提言】

グリーンイノベーション推進企業と のパネルやワークショップに参加。 最優秀グループは発表を行う。

一般配信(1部クローズ)

プロジェクト推進

ジョブアサインの業務遂行力だけ でなく、ジョブクラフティング (再定義)力を育成する

例:企業の新規事業・商品マーケ ティングプロジェクトとして推進

コミュニティ推進

一過性でなく、次代を共創するリーダーとして有機的につながり、 連続してリーダーを育成、輩出し ていくエコシステムとして推進。

2月~3月初旬

3月12~13日

3月~

2021年度:対象

企業若手リーダー候補 30名 (ミレニアル世代1社3名程度) 省庁若手官僚/Global Shapers 15名

期間

2021年 10月末~2022年3月

【大局を捉える】【リーダーシップ】【先進事例】オンラインプログラム

オンラインプログラム

経産省、有識者、起業家によるプレゼンテーション・セッション、 その後小グループで共有ワークショップグループに分かれて価値観を共有するダイアログW

候補者ドラフト



① 世界・日本の気候変動の現状と取り組みを知る

気候変動への対策として、地球温暖化、オゾン層保護、環境影響 評価など多様な取組を通じて、政府全体の環境政策をリードする 環境省の職員が、日本の政策の今と未来を語る。

多田 悠人氏 :環境省 地球環境局国際地球温暖化対策 担当参事官室 係長



① 日本・世界のエネルギー事情と グリーンイノベーション戦略概要を学ぶ

世界のエネルギー事情や日本のエネルギーの安定供給や省エネル ギー・新エネルギー(原子力、太陽光、風力、スマートコミュニ ティ等) 政策を担当する資源エネルギー庁の内外の現状と未来、 グリーン成長戦略をレクチャーする。

長谷川 洋氏 :経済産業省 資源エネルギー庁 需給政策室長 兼調査広報室長



①エネルギー転換:新型コロナ感染拡大からの回復の 取り組みが示す、5つの重要な教訓

Head of Oil and Gas Industry and Partnering Against Pedro Gomez Corruption Initiative (PACI), World Economic Forum



①社会課題の解決に向けリスクを引き受け、 困難な旗を振る(仮題)

地球上の貧困問題解決に向けて財団全体で5兆3千億円の予算を用い、 また先進国、国連、世銀等国際協力のプレイヤーと協力して取り組む。

柏倉美保子氏 ビル&メリンダ・ゲイツ財団 日本常駐代表



① 食と農の未来を学ぶ

【プロフィール】マッキンゼー・アンド・カンパニ ーパートナークロスボーダーのM&A戦略策定のプロジェ クトに従事し、日本企業の新興国新規参入戦略に従事。 『マッキンゼーが読み解く食と農の未来』執筆。





② グリーンイノベーションに向けた取り組み事例

人工光合成プロジェクトを行う。 化石燃料に頼らない新たな試みについて語る。

瀬戸川 亨氏 :三菱ケミカル株式会社 エグゼクティブフェロー



② グリーンイノベーションに向けた取り組み事例

「Sustainability First」をユーグレナ・フィロソフィーとして掲 げ、バイオ燃料を製造・使用する産官学のサポーターを日本中に広 げるべく挑戦中。持続可能な未来への道を語る。

:株式会社ユーグレナ 経営戦略部 部長代理 木村 健氏



② グリーンイノベーションに向けた取り組み事例

テクノロジーでエネルギー革命を推進しているENECHANGE の 脱炭素化社会の実現に向けて挑戦している具体的な取り組みに ついてレクチャーする。

城口 洋平氏 :ENECHANGE株式会社代表取締役CEO



②未来を切り開くビジョンとリーダーシップ

人類の幸福・世界平和(wellbeing and world peace)=①心× ②社会システム×③テクノロジー。

井上高志氏 :株式会社LIFULL 代表取締役社長



© 202 山田 唯人氏

を固く禁じます。

【現場に学ぶ】体験プログラム

小グループを組み、福島第一原発/伝承館/水素フィールドやイノベーションコーストを見学。原子力発電を肯定、 否定するのではなく、10年前に何が起きたのかを学び、10年経過した現実を踏まえた上で、未来を描くプログラム。

体験型プログラム (1泊2日@福島)











/ed. Confidential. 転送を固く祭しより。

▲ 伝承館

【リーダーシップ】 オプショナル体験プログラム

Academy校長の岡田武史氏協力の元、愛媛県今治市に集い、今治造船の「CO2ゼロ船」の開発や グリーンイノベーションへの取り組みを見学すると共に、スポーツを通じた地方創成、 日本サッカー界の「育成改革」に情熱を傾ける岡田氏から未来を変革するリーダーシップを学ぶ。

体験型プログラム (1泊2日@今治)









© 2021 Youth Green Innovation Project 実行委員会. All rights reserved. **Confidential. 転送を固く禁じます。**

【現場に学ぶ】オプショナル体験プログラム

Youth Green Innovation project委員の渋澤健氏と共に、科学技術とエネルギー、 更には先端的産業拠点であるむつ小川原開発地区へエネルギーと未来を考えるプログラム。

体験型プログラム (1泊2日 @青森県)



シブサワ・アンド・カンパニー株式 会社代表取締役、コモンズ投信株式 会社取締役会長。複数の外資系金融 機関およびヘッジファンドでマーケ ット業務に携わり、2001年にシブサ ワ・アンド・カンパニー株式会社を 創業し代表取締役に就任。07年にコ モンズ株式会社(現コモンズ投信株 式会社)を創業、08年に会長に就 任。経済同友会幹事およびアフリカ 開発支援戦略PT副委員長、UNDP (国連開発計画) SDG Impact Steering Group委員、東京大学総長室 アドバイザー、等



むつ小川原ウィンドファーム 1500kw型大型発電機21基を設置したウィンドファーム



国際核融合エネルギー研究センター



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク 国内最大のメガソーラー



原子燃料サイクル施設

【現場に学ぶ】オプショナル体験プログラム (注:コロナの為2022年以降開催予定)

早稲田大学教授で環境教育の先駆者である高野氏と共に、米ドルとも交換できない石貨を使って 自給自足の生活をするミクロネシア連邦ヤップ島へ行き、豊かさと循環型社会、持続可能な社会と市民の役割を考える。

体験型プログラム(5泊6日@ミクロネシア ヤップ島)



アドバイザー高野 孝子

早稲田大学教授 冒険家、NPO 法人エコプラス代表 教育学博士(エジンバラ大学Ph.D.) 、ケンブリッジ大学M.Phil (Environment

and Development),

早稲田大学政治学修士。

環境教育、野外教育の先駆者 野外・環境・持続可能性教育、社会人類学 を専門とする。90年代初めから「人と自 然と異文化」をテーマに、地球規模の環 境・野外教育プロジェクトの企画運営に取 り組む。体験からの学びを重視し、「場の 教育」や「学びの場作り」を提唱してい る。社会貢献活動に献身する女性7名に向 けた「オメガアワード2002」を緒方貞子 さんや吉永小百合さんらと共に受賞。環境 ドキュメンタリー映画「地球交響曲第7 番」に出演。











【ビジョニング】オプショナル体験プログラム

日本たばこ産業株式会社 代表取締役副会長・岩井 睦雄氏による

イノベーターとして内省を深め、自身に向き合う「暗闇で未来の自分に会いに行く」ビジョニングワーク

体験型プログラム (半日@東京 アトレ竹芝 ダイアログインザダーク)



アドバイザー 岩井 睦雄

JT日本たばこ産業㈱ 取締役副会長 日本アスペン研究所 理事 久野塾 専務理事

1983年日本専売公社入社。 人事部、経営企画部、銀行研修 (富士銀行ロンドン支店)を経て 2005年執行役員食品事業部長 2006年取締役食品事業本部長 20011年JTインターナショナル副社長。 2013年専務執行役員企画責任者。

2015年寺笏秋行及真正画真正省。 2016年専務執行役員たばこ事業本部長。

2016年代表取締役副社長たばこ事業本部長。

2020年3月取締役副会長







4

参加者

Youth Green Innovation forum 企画概要

未来をえがく

~経済と環境の好循環を生む2050年を目指して~

日本全国から100名の優秀な熱意のある、未来を作り出す意志のあるイノベーターを目指すZ世代大学生を招聘します。また、グリーンイノベーションを牽引する企業、経済産業省/環境省若手官僚、専門家、有識者と共に2050年CNに向けてグリーンイノベーションの更なる創発に向けて様々な角度で分科会、パネルディスカッションを行います。企業/若手官僚はそれぞれCNに向けた新規事業や事業提案、政策提案を行い。アカデミー参加大学生は2050年のCN社会へ向けて経産省大臣、環境省大臣へ提言を行います。











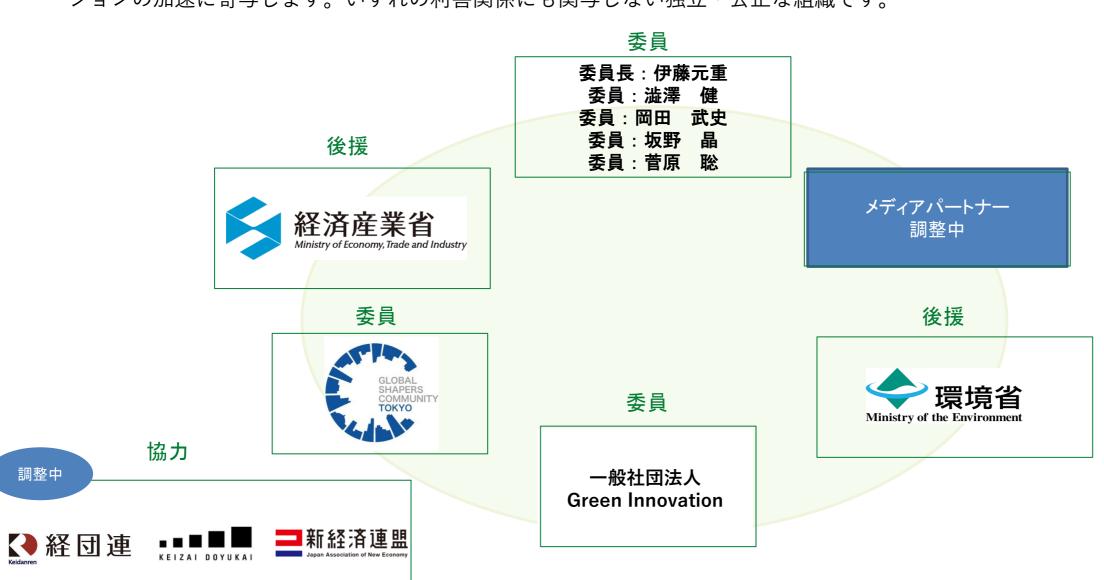
主催	Youth Green Innovation Project実行委員会										
共催	Global Shapers Tokyo hub, 一般社団法人Green Innovation										
後援	経済産業省、環境省、経団連、経済同友会、新経済連盟(各所調整中)										
会期	2022年3月12日(土) ~ 13日(日)										
会場	日比谷ミッドタウン BASEQ										

大学生100名/実行委員会/協賛・参画企業/経済産業省・環境省職員職員

主催者の概要

Youth Green Innovation Project 実行委員会

2050年、脱炭素社会に向けた取り組みを加速させるため、産官学で連携し、次代を担う若い世代へグリーンイノベーションの認知拡大と共に、自ら考え未来へ向けて行動を起こす人材の育成と輩出を目指すために発足。パブリック・プライベート両セクターの協力を通じてビジネス界、学界および社会におけるその他のリーダーと連携し、グリーンイノベーションの加速に寄与します。いずれの利害関係にも関与しない独立・公正な組織です。





委員長 伊藤 元重

東京大学名誉教授/学習院大学 国際社会科学部 教授

東京大学経済学部卒業。ロチェスター大学Ph.D。専門は国際経済学。いわゆる「アームチェア・エコノミスト」ではなく、ビジネスの現場を歩き、生きた経済を理論的観点を踏まえて鋭く解き明かす、いわば「ウォーキング・エコノミスト」として知られる。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」コメンテーターなどメディアでも活躍中。



委員 渋澤 健

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表 取締役、コモンズ投信株式会社取締役会長。

複数の外資系金融機関およびヘッジファンドでマーケット業務に携わり、2001年にシブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。07年にコモンズ株式会社(現コモンズ投信株式会社)を創業、08年に会長に就任。経済同友会幹事およびアフリカ開発支援戦略PT副委員長、UNDP(国連開発計画)SDG Impact Steering Group委員、東京大学総長室アドバイザー、等。



委員/アカデミー校長 岡田 武史

株式会社今治. 夢スポーツ 代表取締役会長 (CEO)

ジェフ市原コーチ (1993-1994) 日本代表コーチ (1995-1997) 日本代表監督 (1997-1998) コンサドーレ札幌監督 (1999-2001) 横浜F・マリノス監督 (2003-2006) 日本代表監督 (2007-2010) 杭州緑城監督 (2012-2013) F C今治メソッド事業部長(2015-) 株式会社今治. 夢スポーツ代表取締役 (2014-2015) 株式会社今治. 夢スポーツ代表取締役 会長(2016-)



委員 坂野 晶

一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン 代表理事

大学で環境政策を専攻後、モンゴルのNGO、フィリピンの物流企業を経て、日本初の「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った徳島県上勝町の廃棄物政策を担う NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミーに参画。理事長として地域の廃棄物削減の取組推進と国内外におけるゼロ・ウェイスト普及に貢献する。2019年世界経済フォーラム年次総会(通称ダボス会議)共同議長。2020年より一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパンにて循環型社会のモデル形成・展開に取り組む。世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。





アドバイザー 岩井 睦雄

JT日本たばこ産業㈱ 取締役副会長 日本アスペン研究所 理事 久野塾 専務理事

1983年日本専売公社入社。

人事部、経営企画部、銀行研修(富士銀行ロンドン支店)を経て、経営企画部にて、ビジョン策定、中期計画、組織文化変革、コントローラー、ビジネス・ディベロップメントなどを経験。2002年には、たばこ増税、マール・ロライセンス終了に伴う全社改革プラン策定のプロジェクトに参画。2003年経営企画部長、2005年執行役員食品事業部長を経て、2006年取締役食品事業本部長として加ト吉買収等を手掛ける。2008年に中国ギョウザ事件発生。事業責任者として事態の収拾、対策に奔走。企画部門に戻り、20011年から二年間海外たばこ事業子会社JTインターナショナル副社長。2013年専務執行役員企画責任者。2016年1月専務執行役員たばこ事業本部長。2016年3月代表取締役副社長たばこ事業本部長2020年3月取締役副会長



アドバイザー高野 孝子

早稲田大学教授 立教大学客員教授 冒険家、NPO 法人エコプラス代表 教育学博士(エジンバラ大学Ph.D.)

環境教育、野外教育の先駆者。ケンブリッジ大学M.Phil (Environment and Development)、早稲田大学政治学修士。野外・環境教育、社会学や人類学など分野横断的な実践的研究を進める。1995年の北極海横断時には、インターネットで冒険の現場と世界各地を繋いだ学びの場作りに史上初めて挑戦した。地球上各地での自らの遠征や少数民族との旅の経験を踏まえ、90年代初めから「人と自然と異文化」をテーマに、地球規模の持続可能性教育プロジェクトの企画運営に取り組む。体験からの学びを重視し、「地域に根ざした教育」の重要性を提唱している。学びを通した地域づくりや生物多様性を回復するプロジェクト、国外でサステナブルな地域を目指す活動支援などにも取り組む。環境ドキュメンタリー映画「地球交響曲第7番」に出演。社会貢献活動に献身する女性7名に向けた「オメガアワード2002」を緒方貞子さんや吉永



アドバイザー 程 近智

アクセンチュア株式会社 相談役 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 社外取締役 株式会社マイナビ 社外取締役 コニカミノルタ株式会社 社外取締役 株式会社三菱ケミカルホールディングス 社外取締役 東京大学 経営協議会委員 早稲田大学客員教授

1960年生まれ、神奈川県出身。スタンフォード大学工学部卒業後、アクセンチュア株式会社に入社。 91年、コロンビア大学経営大学院でMBAを取得。 復職後は戦略グループ統括パートナー、通信・ハイテク本部統括本部長などを経て2006年に代表取締役社長に就任。2015年同社取締役会長就任。2017年同社取締役相談役就任。東京大学経営協議会委員や早稲田大学客員教授、経済同友会幹事、なども務める。

世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersメンバー及びアルムナイにて運営



委員 菅原 聡

Minit Asia Pacific Co.,Ltd. CSO 経済産業省 資源エネルギー庁 調査広報室 エネルギー広報教育専門職員 特定非営利活動法人GLOBEPROJECT代表理事

早稲田大学卒。リクルートにて事業開発室、サステナビリティ推進室を経て現職。リクルート時キャリア支援プログラムの講師育成をアジア6か国に展開。WEFの公式イベンSHAPE Asia Pacific 2016 開催責任者、世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。

SHAPE Asia Pacific 2016 G7広島外相会合推進協議会と共催 世界37ヶ国から112名を広島へ招聘し開催





 アカデミー担当

 林 志洋

ショクバイ株式会社 代表取締役 長野県小布施町 総合政策推進専門官 特定非営利活動法人Bizjapan代表理事

イノベーションの社会実装」「人と社会のポテンシャル最大化」をミッションに活動を続け、米系コンサルティング企業A.T.カーニーを経て独立。海外スタートアップの日本展開、大企業の新規事業コンサルティング、高齢者向けの起業家教育など複数の事業に携わる。世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。ハーバード大学経営大学院 (HBS) Teaching Fellow (2018-2019年)、経済産業省産業構造審議会産業技術環境分科会委員(2020年)、等。



アカデミー担当 山東 晃大

京都大学経済研究所研究員 専門:再生可能エネルギー (特に地熱発電と洋上風力発電)

再生可能エネルギー(特に地熱発電と洋上 風力発電)によって地域にどれくらいのお 金が落ちるか数値化する研究(地域経済付 加価値分析)。

2012年から小浜温泉エネルギーにて温泉バイナリー発電所の取り組みに携わる。世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。現在は、小浜温泉のまちづくりに取り組みOBAMAST.(オバマストリート)、小浜温泉ワイナリー、温泉熱でつくる小浜の塩などの経営に関わっている。小浜温泉在住。



FORUM担当 ジャルガルサイハン ボルドマー

株式会社JERA 事業開発本部再工ネ開発部 主任

東京大学法学部卒

株式会社JERAにて海外洋上風力発電事業の開発と管理に従事。JERA入社前は、日本及びモンゴルにて人材業界、商業銀行で営業、案件開発を経験。2015年、世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。2020年10月から世界経済フォーラム、グローバル・フューチャー・カウンシル日本に関する地域別委員会メンバーを務める。サステナビリティ、脱炭素化、次世代支援をパッションに社内外にて積極的に活動中。

世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersメンバー及びアルムナイにて運営



アカデミー担当 **有村拓朗**

NPO法人スパニッシモ ジャパン 代表理事 TOKYO Re:STARTER メンター

NPO法人スパニッシモジャパン 代表理事 関西学院大学総合政策学部卒。リクルートを退職後、世界一周の旅をする中、中米グアテマラを訪れる。現地の不安定な雇用状況や経済状況を知り、グアテマラの現地人を講師にしたオンラインスペイン語学習サービス、スパニッシモを立上げる。世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。



アカデミー担当 **中馬 一登**

株式会社MIYACO 代表取締役

2014年 兄弟3人で株式会社美京都(みやこ)設立。人材・教育事業や観光事業、地方創生事業を手掛け、京都市や大阪市、舞鶴市と提携し若手の活躍を推進するプロジェクトなど多数企画・開催している。

世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。



アカデミー担当平岡 慎也

株式会社Stapia 代表取締役

立命館大学情報理工学部卒業。2016年に株式会社美京都に入社。学生時代はITと教育を学びながら、中高数学科の教員免許を取得。教育を0から見つめ直すため、「世界中の学校で先生になる旅」をテーマに1年間かけて世界を一周。フィンランド、オーストラリアを中心に、世界20ヶ国40の学校を訪れ、計6ヶ月の教育実習を行った。現在は、セブ島で英語留学しながら小学校で教育実習ができる「Global Teacher Program」を運営。

世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。



事務局 細貝 征弘

株式会社Lifebook 代表取締役

2011年株式会社Lifebookを創業。テクノロジー企業や大手上場企業を対象に、サービス開発支援。他3社のファウンダーとしても活動。世界経済フォーラムにより組織されるコミュニティGlobal Shapersに選出。

Youth Green Innovator forum 参加大学生について

未来を作りだす意志と熱量(energy) 高い好奇心と成長意欲を持つ人を選抜







参加予定大学

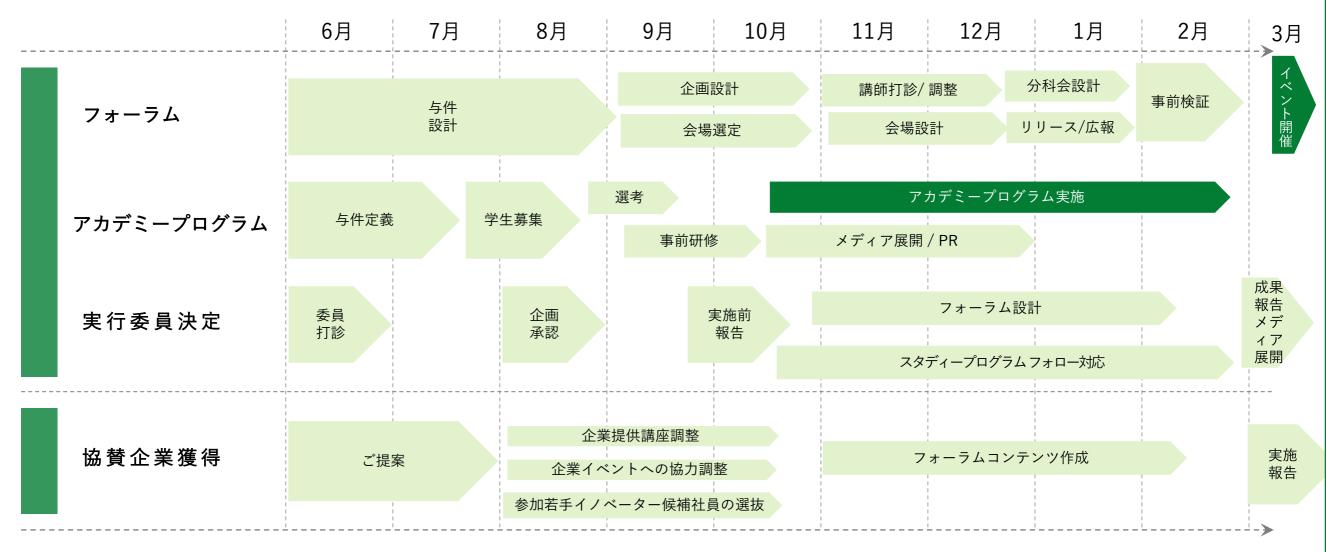
東京大学、京都大学、一橋大学、東工大学、北海道大学、大阪大学、名古屋大学、九州大学、東北大学、神戸大学、慶応大学、筑波大学、千葉大学、東京外語大学、横浜国立大学、早稲田大学、上智大学、ICU、同志社大学、関西学院大学等

選抜の流れ

当日参加はスタディプログラム参加者からWEF Global Shapersと共に選抜を行い、グリーンイノベーションに 関心があり、優秀な大学生を100名選抜。

その他にもオンライン配信を行い、全国の大学生が視聴 可能に設計。配信内容はアーカイブ化、記事化を行いフ ォーラム後も発信を行います。

6 全体スケジュール





COP開催直前の10月末よりアカデミー開校、3月12-13日フォーラムを日比谷ミッド タウンBASEQにて実施。アカデミーは基本オンライン配信と一部、福島第一原子力 発電所への現地視察などを行う。

①Green Innovator Academy (For ミレニアル世代)

共創型次世代イノベーター育成プログラム











異業種の参加者がグリーンイノベーションをテーマに新規事業を創出する PBL (Project Based Learning)型セッションを通して、 組織の中から企業や社会をイノベートする若手リーダーを開発するプログラムです。



- ・エネルギーを取り巻く国際情勢と課題の本質を捉える力
- ・大局を捉え、自ら意志をもって目的を設定する力
- ・新価値創造のプロセス/方法
- ・多様な価値観をもつ人と、カオスの中でプロジェクトを企画推進する力
- ・異業種での共創による、固定観念の打破やリーダーシップの促進
- ・多様なセクターと共創、新規事業を検討による越境経験の加速
- ・知の獲得
- ・自社、自分の更なる可能性

イノベーターに求められる思考・行動は、今までとは異なるものが多い。 自分とは異なる他者(他社)との共創をすることで、新しいリーダー開発を強化していく

cf. NEW TYPE ニュータイプの時代 山口周著

ネットワーク構築 【人材マネジメント】

リーダーに求められる 思考・行動様式

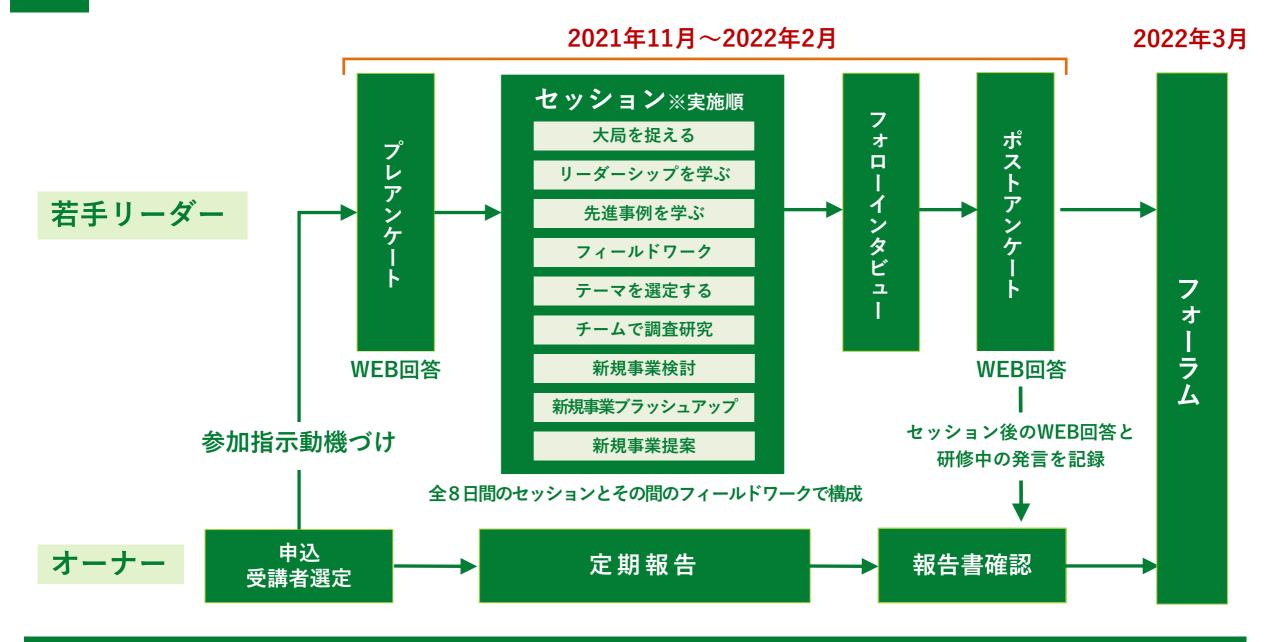
マーケティング 【既存事業推進】

- ●正解を探す
- ●予測する
- ●KPIで管理する
- ●生産性を上げる
- ●ルールに従う
- ●ひとつの組織に留まる
- ●綿密に計画し実行する
- ●奪い、独占する
- ●経験に頼る

イノベーション 【新価値創造】

- ●問題を探す
- ●構想する
- ●意味を与える
- ●遊びを盛り込む
- ●自らの道徳観に従う
- ●組織・企業間を越境する
- ●取り敢えず試す
- ●与え、共有する
- ●学習能力に頼る

プログラム全体像と概要



概要

- 断続的な8日間の研修と、その間に実施するフィールドワーク及びフォーラムで構成
- 気候変動や世界/日本のエネルギー情勢、環境アクティビストの声、フィールドワークを通して多角的に大局を捉える
- グリーンイノベーションの先進事例を学びグループごとにテーマを設定。
- テーマ毎に専門家とも議論し協働型で新しい価値を創出
- 自社や他社の資源(技術・ノウハウ・顧客・ブランドなど) と接続し、事業案を考える
- 最終日に、各専門家に対してグループで提案し、評価を獲得する。最優秀グループはフォーラムにて発表を行う。

背景

EUは94兆円のグリーンリカバリーファンドを創設。 バイデン政権は200兆円のクリーンエネルギー投資計 画を発表。日本も2兆円のグリーンイノベーション基 金を創設。

コロナ危機が生んだEUの大型 グリーンリカバリー

焦点の資金調達は異例の共同債発行で94兆円 山家公雄=エネルギー戦略研究所長 2020/08/31 05:00 1/5/



Bloomberg ▼

f 💆 🍳

バイデン氏、2兆ドルのクリーンエネルギー

投資計画を発表

Jennifer Epstein、Jennifer A. Dlouhy 2020年7月15日 9:40 JST



→ 2035年までに二酸化炭素を排出しない電力業界の実現目指す



菅総理所信表明演説(2020年10月26日) - 「我が国は、2050年に、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素 社会の実現を目指す」
 2050年カーボンニュートラルを目標に掲げる国:123か国+EU(2017年の世界のCO2排出量の約20%)



です。まずは、政府が環境投資で大胆な一歩を踏み出



- 革新的なイノベーションの推進
- エネルギー政策の推進

します。

- グリーン成長戦略の実行計画
- グリーン成長に関する情報公開
- 脱炭素ライフスタイルへの転換
- 新たな地域の創造

主要国の気候変動政策

 2019年12月:「European Green Deal」を発表 持続可能な社会への変革(transformation)の戦略であり、成長の戦略 "Climate neutrality by 2050 (2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロア。この長期 ビジョンを追定化(法案(欧州気候法)を2020年3月にEU委員会から提案) 国境襲撃の議論 *2020年5月: EU復興計園。「グリーン・リカバリー」 *EUの2030年日線(NDC):1990年比少なくとも55%削減を668%削減へと引き上げ ・気候変動法(2019年6月改正)で、2050年禁出業質ゼロを規定 ・一部の上場企業に対して、TCPDにそったCompty or Explainでの情報開示を2020年まで に截着づけ
 *2021年1月20日、バリ協定を再除軽(30日後の2021年2月に効力発生) ・カリフォルニア州など州政府、企業界は気候変動対策に積極的に取り組む ・バイデン新政権の気候変動対策: 置くとも2050年末中に地比変質ゼロ。2035年電力 股後ま化、グリーンエネルギー等へのインフラ投資に4年間で2次まドル投資する計画
 中 ・再生可能エネルギーの設備容量は世界ー。水素・燃料電池産業も観路的に育成 ・家くとも2060年までにカーボンニュートラル(2020年9月22日) ・GDP単位当たりのCD2排出量を2030年までに55%起削減、一次エネルギー消費 に占めるま化石差料の割をも約25%に増やす ・石炭火力を2020年までに1100GW未満にする(2016年。13次五カ年計画)。14次五カ年 計画は2021年発表予定

背景

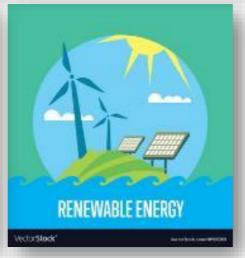
RE100 (企業が自らの事業の使用電力を100%再エネで賄うことを目指す国際的なイニシアティブ) が加速。ジェフ・ベゾスは純資産の約8%1兆800億円を気候変動対策に投じると発表。















公約必須:

すでに電力の100%を再生可能エネルギーから得ている 再生可能エネルギー100%達成への明確な戦略とタイムテーブルがある 再生可能エネルギー100%達成に向けたロードマップを加盟12カ月以内に作成すると約束可能

■加盟企業のメリット

- ・ESG投資において、投資家からの評価が高くなる
- ・将来的な化石燃料の高騰リスクを回避できる
- ・RE100は中小企業にとっても重要
- ・温暖化対策への取り組みPRができる
- ・取引先の開拓に有利

背景

本年10月26日、第203回臨時国会において、菅総理より「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言された。

【第203回国会における菅内閣総理大臣所信表明演説】(令和2年10月26日) <抜粋>

- ▶ 菅政権では、成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げて、グリーン社会の実現に最大限注力して参ります。 我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュート ラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。もはや、温暖化への対応は経済成長の制約 ではありません。積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想の転換が必要です。
- ▶ 鍵となるのは、次世代型太陽電池、カーボンリサイクルをはじめとした、革新的なイノベーションです。実用化を見据えた研究開発を加速度的に促進します。規制改革などの政策を総動員し、グリーン投資の更なる普及を進めるとともに、脱炭素社会の実現に向けて、国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組みます。環境関連分野のデジタル化により、効率的、効果的にグリーン化を進めていきます。世界のグリーン産業をけん引し、経済と環境の好循環をつくり出してまいります。
- ▶ 省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、安全最優先で原子力政策を進めることで、安定的なエネルギー供給を確立します。長年続けてきた石炭火力発電に対する政策を抜本的に転換します。